

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第170号

平成25年2月1日



▲第7回議会報告会開催のようす（平成25年1月21日 西根自治センターにて）

■おもな内容■

第365回定例会	2～7
◇本会議の概要	2
◇陳情の処理	2、3
◇審議結果一覧	3
◇意見書の提出	3
◇一般質問	4～7

◆行政視察の報告	8、9
◆角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会	9
◆2月定例会日程（予定）	10
◆議会日誌	10
◆編集後記	10

条例議案、補正予算議案など
26件の議案を審議しました。

第365回定例会は12月3日に招集され、市長提出議案が23件、議員提出議案が3件、継続審査議案1件、あわせて27件の議案を審議しました。上程された議案は、慎重に審議され、18日間の会期を経て同日20日に閉会しました。

本会議

◎第1日(12月3日)
会期を18日間と決定した後、市長から上程された議案に対する提案理由の説明があり、専決処分議案については、表決の結果、原案のとおり承認されました。

◎第2日(12月10日)
はじめに、一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定について議案訂正の申し出があり承認されました。その後、初日に市長から提案された21議案に対し、本田敏昭議員、日下七郎議員、相澤邦戸議員の3名が質疑を行いました。質疑の後、条例議案13件・指定管理者の指定についての議案1件を所管の常任委員会に付託しました。

また、自由討議では角田市学校給食センター基本計画について、活発な意見交換がなされました。

◎第3日(12月18日)
条例の一部改正1議案、補正予算5議案及び仙南地域広域行政事務組合規約の変更についてを審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。

◎第4日(12月19日)
前日に引き続き、5名の議員が一般質問を行いました。

◎第5日(12月20日)
はじめに、細川健也総務財政常任委員長より、継続審査となっていた、一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定について及び角田市都市計画税条例の制定について、審査結果の報告がありました。

このうち、一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定については、小湊毅議員、日下議員、本田議員が反対討論、柄目孝治議員が賛成討論を行い、表決の結果、賛成多数で可決されました。

が反対討論、本田議員が賛成討論を行い、表決の結果、賛成多数で可決されました。そのほかの審議結果は、3ページ表1のとおりで、審議された議案の主なものは次のとおりです。

主な補正予算の概要

▼一般会計(第5号)

歳入・歳出予算にそれぞれ2億5,570万6千円を追加補正するとともに、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

歳入の主なものは、地方交付税、国・県支出金及び市債の追加で、歳出の主なものは、次のとおりです。

- 定住促進、かくだ・いらっしやいプラン推進事業補助金
- イノシシ等の有害鳥獣駆除捕獲謝礼
- 児童図書購入費

▼一般会計(第6号)

歳入・歳出予算にそれぞれ7,271万5千円を追加補正するとともに、繰越明許費の補正を行うものです。

◎角田の花嫁・お見合い大作戦実行委員会負担金
○農作物放射性物質吸収低減対策事業(塩化カリ肥料の購入・配布)

その他

▼指定管理者の指定について
角田市農業の館の指定管理者をみやぎ仙南農業協同組合に指定するものです。
なお、指定の期間は平成25年4月1日から平成26年3月31日までとなります。

陳情の処理

▼北角田中学校区通学路の安全確保を求める陳情
角田市江尻字前原50番地
北角田地区学校教育振興会
会長 伊藤善昭
市当局へ要請しました。

▼東日本大震災被災者の介護保険利用者負担の減免を市町村の負担にせず継続するための財政措置を求める陳情
仙台市青葉区五橋1-5-13
宮城県社会保障推進協議会
会長 刈田啓史郎

▼生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担免除を2013年4月以降も継続を求める陳情
仙台市青葉区本町2-1-29
宮城県保険医協会
理事長 北村龍男

▼生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する介護保険料と利用者負担の減免措置を求める意見書の提出
仙台市青葉区五橋1-5-13
乳幼児医療ネットワークみやぎ
代長 刈田啓史郎

▼生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する介護保険料と利用者負担の減免措置に対する財政支援の延長及び食費・居住費の減免措置に対する財政支援を求める意見書の提出
宮城県
意見書の提出
国の関係機関及び宮城県へ
次の意見書を提出しました。

意見書の提出

▼生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担免除を2013年4月以降も継続を求める意見書の提出

表1

第365回定例会 審議結果一覧

議員数は18名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は17名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	無党派
専決処分 一般会計補正予算(第4号)	12月3日	承認	○	○	○	○	○
条例 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び角田市障害者就労支援施設条例の一部改正について	12月18日	可決	○	○	○	○	○
	12月20日	可決 (賛成12 反対5)	○	○	○1 ×2	×	○4 ×1
	12月20日	可決	○	○	○	○	○
	12月20日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
例 角田市都市計画税条例の制定について 角田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準等に関する条例の制定について 角田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準等に関する条例の制定について 角田市市道の構造の技術的基準に関する条例の制定について 角田市市道に係る移動等円滑化のために必要な道路の構造の基準に関する条例の制定について 角田市市道に設ける道路標識の寸法に関する条例の制定について 角田市準用河川に設ける河川管理施設等の構造の技術的基準に関する条例の制定について 角田市市営住宅及び共同施設の整備基準に関する条例の制定について 角田市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置の基準に関する条例の制定について 角田市水道事業に係る布設工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格に関する条例の制定について 市営住宅条例の一部改正について 角田市都市公園条例の一部改正について 角田市下水道条例の一部改正について	12月18日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
	12月18日	可決	○	○	○	○	○
	12月20日	可決	○	○	○	○	○
	12月18日	可決	○	○	○	○	○
	12月20日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
	12月20日	可決	○	○	○	○	○
平成24年度補正予算 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) 水道事業会計補正予算(第2号)	12月18日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
	12月18日	可決	○	○	○	○	○
その他 一般会計補正予算(第6号) 仙南地域広域行政事務組合規約の変更について 指定管理者の指定について(みやぎ仙南農業協同組合)	12月20日	可決	○	○	○	○	○
	12月20日	可決 (賛成15 反対2)	○	○	○	×	○
議員提出議案	議決年月日	議決結果	クラブみんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	無党派
意見書 生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する介護保険料と利用者負担の減免措置に対する財政支援の延長及び食費・居住費の減免措置を求める意見書の提出について 県の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める意見書の提出について 生活再建に至らない東日本大震災被災者に対する医療費一部負担免除を2013年4月以降も継続を求める意見書の提出について	12月20日	可決	○	○	○	○	○

各会派の構成メンバー
●クラブみんしん(谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、相澤邦戸、柄目孝治) ●政友会(渡邊誠、齋藤正一郎) ●市民クラブ(本田敏昭、小島正、湯村勇)
●日本共産党角田市議団(日下七郎、八島定雄) ●無党派(会派に属さない議員)小湊毅、馬場道晴、伊藤善昭、玉手安博、佐藤正友議長、高橋力雄副議長



平成24年稲作のセシウム対策の検証及び平成25年稲作の方針について

日下七郎 議員

議員▼(1)平成24年産米の放射性セシウムの低減のため...

方がいいというのが消費者の求めることと思いが...

議員▼子ども・子育て3法の趣旨は、幼児期の学校教育、保育、幼稚園の連携...

子ども・子育て3法について 馬場道晴 議員

れば平成27年度ですが、消費税率が26%引き上げに...

です。平成25年度の当初予算で提案したいと考えて...

地元文化の継承と有効活用について

小湊 毅 議員



議員▼近年、新しいものが良いとされ、古いものを軽んじる風潮が見られる...

すので、ありとあらゆるものが残さないと消えてしまうものなので、伝えていくという教育的意義は非常に大切です...

また、この地域の文化を理解して頂くということが大事なことであり...

○名木、巨木、老木の文化財指定について

議員▼除融雪業務の概要について伺います。

市長▼平成24年度は、幹線道路等を中心に交通量や坂道の多い路線及びスクールバス路線など約300kmを除雪して...

市長▼業者によって、資材置き場等に雪を捨てる場所を持つ業者は...



「安全で安心なまちづくり」を目指した事業から、除融雪の関連について

谷津睦夫 議員

議員▼通学道路や歩道における除融雪の取り組み実績及び今後の改善策を伺います。

市長▼現在、歩道については阿武隈急行線角田駅に近接する駅前大通線についてのみ実施しています...

市長▼業者によって、資材置き場等に雪を捨てる場所を持つ業者は...



復旧復興に向けての対策について

伊藤善昭 議員

議員▼東根地区まちづくりに懇談会の質問の中で「地震や津波により被災された近隣の市や町の復旧工事に使用される土砂や山砂利の民間採取場があり、震災前より多くの大型ダンプカーが通行するようにになりました。幅員が狭く舗装の厚さが薄い市道は損傷が目立ちます。国の復旧予算で整備できないでしょうか」との質問があったと聞いています。県の考えはどうなのか伺います。

市長▼村井知事からは、大型車両の走行による地域住民への配慮及び施工業者への指導を徹底すること、国に対しては、震災復旧事業の事前情報提供だけでは不十分なので問題があることについて改善するよう働きかけるという回答でした。また、宮城県市長会に對しても、道路損傷による修繕費の震災復興財源による全額措置、土砂、採取場所、発注期間、大型車両の運行経路などの情報を関係自治体に対して事前に提供するように要望しています。議員▼巨理町では、騒音や道路の損傷などの対策や交通の安全を確保するために、工事を発注する国の出先機関や県、町、巨理警察署などで構成する巨理町工事事務協議会を設置しています。角田市もこのような組織を設置する考えはないのか伺います。



▲大型車両が並んで走行する東根地区の市道

市長▼冬期間においては路面凍結の心配がありますので、気象予報等に十分注意しながら散水するように、そしてまた、万が一散水後に凍結の心配がある場合には、融雪剤を散布するなどの対応をするよう業者に指導しています。

伊藤議員その他の質問
○林地開発地等の災害防止について



人・農地プラン作成事業について

渡邊 誠 議員

議員▼平成24年度から実施されている農林水産省の人・農地プラン作成事業について、当局の認識を伺います。市長▼農業を取り巻く状況は、経営者の高齢化が進み、後継者も減少しています。人・農地プランは、こうした状況に歯止めをかけるため、地域の人たちが10年後の農業のあり方をイメージして、人と農地の問題を話し合

い、地域の合意のもとに地域農業の未来像を設計するということです。このプランを作成することで、新規就農者などが就農支援のための助成を受けられること、認定農業者等に農地を面的に集積できること、無利子資金の貸し付けを受けられること等ができ、大変メリットがある制度だと考えています。一方、農地を貸す場合、白紙委任をする必要があることや、現行制度との整合性などの課題もありませんが、今後の地域農業を活性化するための手段として有効なものであると認識しています。議員▼角田市としては取り組む考えですか。市長▼取り組んでいく方針で、全体計画は今年度末までに素案策定をします。今後、実際の事務を進めていく上で、農地の貸し借りや集積に当たっては、農業委員会や農業振興公社と連携が必要であり、さらに相当な事務量の増大が想定されるため、推進体制の整備を含めて検討しています。

北角田中学校のスクールバスについて
議員▼北角田中学校スクールバス運行管理規程は、利用者を地区割で規定していますが、距離をもっと規定すべきだと思いますがいかがですか。教育長▼現在、本市のスクールの合意のもとに、地域の合意のもとに地域農業の未来像を設計するということです。このプランを作成することで、新規就農者などが就農支援のための助成を受けられること、認定農業者等に農地を面的に集積できること、無利子資金の貸し付けを受けられること等ができ、大変メリットがある制度だと考えています。一方、農地を貸す場合、白紙委任をする必要があることや、現行制度との整合性などの課題もありませんが、今後の地域農業を活性化するための手段として有効なものであると認識しています。議員▼角田市としては取り組む考えですか。市長▼取り組んでいく方針で、全体計画は今年度末までに素案策定をします。今後、実際の事務を進めていく上で、農地の貸し借りや集積に当たっては、農業委員会や農業振興公社と連携が必要であり、さらに相当な事務量の増大が想定されるため、推進体制の整備を含めて検討しています。

各種標識の破損、不鮮明等への対応について
議員▼道路脇にある標識が破損している状況が相当目立ちます。今後、

放射能から子どもを守る諸対策について
議員▼通学路の除染を今後どのように取り組まれる考えなのか伺います。市長▼来年度は子どもが多く利用する公園、公共施設を優先的に実施する予定であり、これらの進捗状況により他の施設も順次進めてまいります。なお、通学路の除染は、歩道上で空間線量率が高い箇所、これは随時対応していきたいと考えてい

就学援助制度の充実に
議員▼2010年度から新たに就学援助の支給対象に加わったクラブ活動費、生徒会費、PTA会費の新3項目について、加えていく考えがあるのか伺います。教育長▼県内でもこの3項目について明確に援助の対象とする方針を打ち出している市町はありません。しかし要保護世帯で対象としている項目を準要保護世帯で対象外としている現行制度は均衡を失うものですので、今後検討します。



胃がん検診について

八島定雄 議員

議員▼集団検診の一部を切りかえ、胃の直接撮影または内視鏡検査を希望者に応じて、医療機関による検診を実施する考えがあるのか伺います。市長▼2つの検査方法について、現時点で導入の考えはありませんが、今年6月に閣議決定された、がん対策推進基本計画においては、「国内外の知見を収集して検討し、科学的根拠のあるがん検診の実施を目標とする」とされており、がん検診のあり方に関する検討会において、がん検診の項目、方法について検討中ですので、その結果を待って対応を考えます。

この状況をどう改善していくのか伺います。市長▼夜間での車の走行の安全を考えますと、急カーブや車道幅員の変化点など、デリネーターの設置が必要な箇所は、今後、道路パトロールや地元区長さんなどからの情報をいただきながら、予算の範囲内で設置替えなどを実施します。

ですが、土砂等を除去した場合にその保管場所が必要になります。この除去土壌等の保管場所の確保は、大変重要な課題ですので、うまく進められるよう行っていきいたいと思っています。



農作物放射性物質吸収低減対策の継続実施について

小島 正 議員

議員▼放射性物質の影響を軽減するため、次年度も引き続き農作物放射性物質吸収低減対策として水田に塩化カリウムの無償配布を継続して実施するのかが伺います。市長▼平成25年産米についても塩化カリウムの施用が必要だと判断していますので、今定例会に追加補

川に沿って森林浴をしながら散策するには絶好の場所であることは間違いないと思っております。現在、県道越河角田線の地蔵堂地内の未改良部分の500m区間において、地域住民、宮城県及び角田市の3者による地域協働事業が実施されることになり、整備計画が策定されています。この計画では、車道の拡幅に加え歩行者の通行も考慮された幅広の路肩も提案されていますので、改めて散策道を整備するというところではなく、県道越河角

田線を散策道として利用することが可能になると思われま。このためには小田川沿いの散策だけでなく、斗蔵山野鳥の森とのつながりを持たせるための場所例えば駐車場や公衆トイレなどの設置が必要になると考えています。斗蔵橋付近にこういった施設ができること、ふもとからハイキングもできると思っています。議員▼斗蔵山登り口にトイレや休憩所、水道を構築するとう考えなのか再度確認します。市長▼斗蔵山登り口の橋あたりに駐車場やトイレを整備したいと思っております。それが防災機能になるかどうかは別にして、斗蔵山のハイキング等の利用者の便に供するという意味では必要な施設だと思っております。

小島議員その他の質問
○小田小学校の跡地利用について
○地方公務員の定年延長見送りに伴う職員体制について
○大沼堤防西側一帯の冠水被害について
○南斗蔵線の道路整備について

《産業建設常任委員会》

●視察期間

平成24年10月30日(火)～11月1日(木)

●視察地・目的

- ①石川県七尾市「合宿等誘致事業費補助金制度について」
- ②石川県羽咋市「農産物のブランド化について」

●視察所感

①石川県七尾市 七尾市は人口の減少や少子高齢化が進み、人口は合併当時の6万人台から5万人台へ推移、高齢化率も29・8%と高くなっています。また、七尾市の観光産業の中心である和倉温泉の利用客数も平成19年以降100万人を割り込んでおり、和倉温泉を活用した交流人口の拡大が市の大きな課題となっています。

そこで、七尾市の将来像である「人が輝く交流体感都市」を実現するために、和倉温泉（おもてなし日本一のホテル「加賀屋」がある）を代表とする宿泊施設を活用した、スポーツと文化の合宿地として、関西・中部・首都圏（やがて能越自動車道、北陸新幹線も開通予定）からの集客により交流人口の拡大を図る合宿誘致事業を展開しています。

具体的には、合宿等誘致事業費補助金制度の実施と多目的スポーツ施設の住んでいます。ブランド化戦略では、消費者から支持される戦略として「ロギング効果（憧れ）」を狙いました。人は憧れの人や有名人が身に着け、食べるものに惹かれるという気持ちを利用したものです。高野氏は「神子原」の地名と結びつく「ローマ法王」を思いつき、神子原米を贈ったところ、バチカン市国大使館の取り計らいによりローマ法王への献上品として扱ってもらえることとなりました。その結果、この情報を聞きつけた首都圏の富裕層の働きかけにもより、有名デパートとの取引につながり、1俵42,000円のブランド米となりました。ほかにも、最高級日本酒「客人」1本720ml入り33,600円などがあります。一方で、人工衛星による食味解析を取り入れるなど、従来の測定では±20%の幅があったものを±5%の幅に変えることで、より正確なデータに基づく品質管理を実施していることも見逃せない点でした。

最後に、ブランド化戦略は羽咋市の抱える課題解決のための1つの方法であって、総合的に戦略を立てることが重要だと感じました。また、ブランドというものは、お客さんが決めるものであって、生産者が決めるものではないということ学びました。今回の羽咋市の場合、高野氏のプロデュース力が際立っています。角田市の管理職も積極的な部下には自由にやらせてみる裁量と、その責任は自分が負う。くらいの考え方が必要ではないかと思いました。

新設です。合宿誘致のキーマンの存在である、金沢星陵高校サッカー部監督（現日本代表の本田圭佑選手の母校）と設計の段階から助言を受け、利用の裏付けを取ったこと、現在の女子サッカーチームに着眼した点が大きな成功の要因と考えられます。ほかにも、スポーツ振興くじtotoの補助制度を利用し、グラウンドの整備を行ったり、4大祭り（青伯祭、向田の火祭り、お熊甲祭、奉燈祭）や体験型学習の誘致に力を入れ、交流人口の拡大・人口減少の歯止めを努力しています。

角田市におきましても、市内・市外を問わず、1人でも多く宿泊（合宿、大会等）できるような仕組みの構築や、スポーツ振興くじtotoの補助制度を活用し、さらなるスポーツ施設の修繕、整備等を行う必要があると思います。例えば、合宿施設、温浴施設、産直市場、コンビニ、スポーツ施設等これらの施設と組み合わせる形で「道の駅」を設置し、総合体育館周辺一帯を交流の拠点と位置づけ、複合施設として運営してはどうかと考えます。

そのためには行動力、機動力、想像力など、チャレンジ精神旺盛な職員を育てることも大事で、議会としても手助け、後押ししていきたいと思っています。最後に、合宿や大会など季節に限定されるものばかりでなく、年間を通して集客できるような事業や活動を常に展開することが重要で、それができ

ば、交流人口の拡大や定住人口の増大に繋がっていくものと感じました。



▲合宿等誘致事業費補助金制度について説明を受ける

②石川県羽咋市

羽咋市神子原地区は限界集落と言われており、高齢化率は54%と顕著で、離村・離農率・耕作放棄地の増大といった中山間地域です。そういう現状を踏まえ「山彦計画」を策定しました。

担当の高野誠鮮（じょうせん）氏は異色の経歴の持ち主で、元テレビ局に勤務、Uターンして現在は、羽咋市役所農林水産課課長補佐の傍ら、金沢大学・同志社大学・法政大学・早稲田大学の非常勤講師、総務大臣委嘱の地域創造アドバイザーを勤め、さらに日蓮宗の僧侶でもあります。

羽咋市が行っている取り組みは、担当職員の信念とアイデア、行動力に尽きると感じました。高野氏いわく、最初からできない理由を考えない。役所思考のままではダメである。課題を突きつけられたらまず多方面から考え、可能性を模索し、従来のルールを無視してストーリーを立て立場を変えて考えてみる。言い訳をしない。ダメもとでやってみる。予算にたよらない。成功例を見ず失敗例を参考に。可能性の無視は最大の無策である。会議ばかりしては何も生まれない。といった考え方です。要するに新たな事業を始める際には既定概念にとらわれないことが大事であるということです。そういった考えを基に実施したのが、「メディア」「交流戦略」「ブランド化戦略」です。

メディア戦略では、地域住民の意識を改革するために行政が本気で何とかしようとしていることを積極的に発信しました。「また、自分たちの地域のことを報道している。」という外部からの評価によって自分たちの地域を再評価させ意識を変革させていくという戦略です。

交流戦略では、空き家・農地情報バンクによる定住者の呼び込みと伝統文化を活用した烏帽子親農家制度による大学生との交流です。羽咋市の特徴は「地域住民による面接があるという点です。」これまでに、12家族35名が移

角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会

－ 改善策の中間報告をまとめ市長に提出しました －

角田市議会におきましては、平成23年12月22日に、角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会を設置し、角田市農業の館の管理運営に関し調査検討をまいりました。

このたび、平成24年12月20日に7回目の特別委員会を開催し、次のとおり「角田市農業の館の改善に向けての提言（中間報告）」を取りまとめ、改善の措置を講じられるよう市長に要望しました。

なお、今後とも角田市農業の館の実績を見ながら、設置目的に沿った施設となっているか判断し、継続して調査検討をまいります。

提言内容

項目1	原料堆肥の確保について
①利用組合員全体の会議を月1回程度開催し、計画通りの搬入が出来るよう努めるとともに、利用組合が自発性を発揮できる組織にすること。また、広く畜産農家の協力が得られる環境を整えていく必要があること。	
②堆肥づくりに精通する職員を置く方向で今後検討すること。	
項目2	原料堆肥の水分調整について
①水分70%以下で搬入するよう徹底すること。	
②水分含有率が少ない繁殖肥育牛農家の利用組合への加入を促進すること。	
項目3	乾燥について
①灯油を使用しない方式を確立すること。	
②熟成槽で切り返しをし、戻し堆肥の利用率を高め、日数をかけて製品づくりをすること。	
③醗酵菌、酵母菌の使用も検討すること。	
項目4	副資材の投入について
①畜種変更も考え、鶏ふん、米ぬか、堤防の草等、有機物の利用を調査研究し、積極的に取り組むこと。	
項目5	堆肥の品質について
①定期的に分析し、品質の高い安定した堆肥を生産し、地区毎に実証田を設け、検証すること。（大きい看板で表示すること。）	
②他の施設で生産された堆肥と比較分析し、品質の高い堆肥を生産すること。	
項目6	機械の修繕について
①プラントを熟知し、定期的に点検して、故障の早期発見に努めるとともに、修理には地元・近隣の業者で対応できる体制づくりをすること。	
項目7	指定管理について
①単年度毎の指定管理とし、その実績をみて判断すること。	
項目8	収支について
①項目1から項目7までの運用改善をして赤字額を減らし、有機農業の里づくりの目的達成のため、角田市農業の基本となる循環型農業の推進のため、有効に利用すること。	

市議会2月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 2月12日(火) 招集告示、会派代表者会議
 15日(金) 議員協議会、議会運営委員会
19日(火) 本会議(提案理由の説明)
 会派代表者会議
 20日(水) 議会運営委員会
25日(月) 本会議(質疑・自由討議)
予算審査特別委員会
 常任委員会(請願審査)
 27日(水) 議会運営委員会
28日(木) 本会議(討論・表決)
予算審査特別委員会
3月 4日(月) 予算審査特別委員会、会派代表者会議
 5日(火) 予算審査特別委員会分科会
 6日(水) 予算審査特別委員会分科会
 7日(木) 常任委員会(議案審査)
 8日(金) 常任委員会(議案審査)
12日(火) 予算審査特別委員会
13日(水) 本会議(一般質問)
14日(木) 本会議(一般質問)、議会運営委員会
15日(金) 本会議

※請願及び陳情等の提出期限は、2月12日(火)までとなります。

※本会議の開会時刻は、午前10時です。

※太文字はライブ配信を行います。

傍聴者数

第365回(平成24年12月)定例会 25名

インターネットライブ中継視聴者数

第365回(平成24年12月)定例会 41名

議 会 日 誌

1日	11月	31日	30日	29日	18日	17日	16日	10月	7日	6日
市議会だより168号	みやぎ県南中核病院企業団議会定例会	政視察(1日)	産業建設常任委員会行政視察	組協議会定例会	仙南地域広域行政事務組合協議会定例会	全員協議会	局職員研修会(奥州市)	東北市議会議長会事務局職員研修会	総務財政常任委員会議員研修会	宮城県市議会議長会秋季定期総会
22日	20日	19日	16日	15日	14日	13日	7日	7日	6日	26日
全員協議会	議会議長会(仙台市)	宮城県市議会議員会事務局職員研修会(名取市)	宮城県市議会議員会事務局職員研修会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)
13日	12日	10日	7日	4日	3日	29日	27日	26日	26日	26日
議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)
11日	1月	27日	20日	19日	18日	17日	17日	17日	17日	17日
議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)	議会議長会(仙台市)

哀 悼



故 玉手安博 議員

昭和62年から市議会議員として、ご活躍いたしておりました、玉手安博議員が1月11日に急逝されました。

ここに、心から哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

第365回定例会(12月定例会)は12月20日に閉会し、市長提出、議員提出議案の全議案を原案通り可決しました。

また、一般質問では8人の議員が登壇し活発な議論が展開されました。

今回の定例会で可決した補正予算の中に、今まではない大きな事業がこの2月に行われることになりました。それは、大手テレビ局の協力を頂いて、花嫁不足で悩む角田市在住の男性のために、一般女性を全国から募り、開催地の角田市を舞台にお見合いをする「角田の花嫁・お見合い大作戦事業」です。日本全国に放送されるバラエティー番組ですが、参加者の皆さんは真剣そのものです。1組でも多くのカップルができ、ゴールインできるよう、市民の皆様と共に応援して参りたいと思っております。

議会だより編集会議